

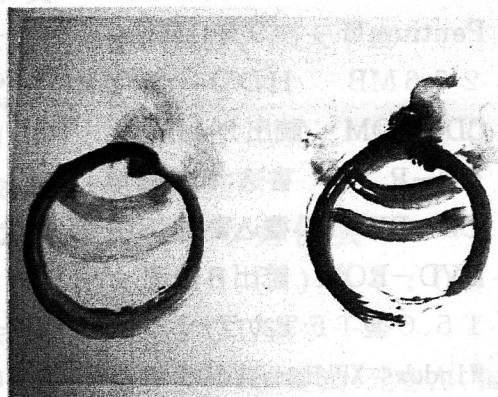
俳画との出会い

増田三郎

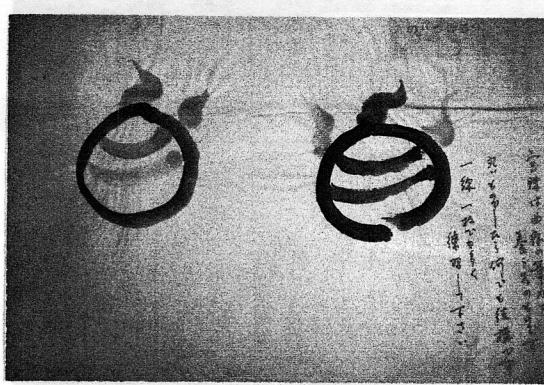
俳画をはじめたのは定年1年前でした。自分で言うのもおかしいことですが、人並みに会社人間であったつもりで、なんの趣味もなく、ただ会社の仕事に専心していました？

定年を間近にひかえ、定年後の生活をどうするか考えていた時、たまたま俳画通信講座を目にしました。絵などまったく描いたことが無くとも、簡単に描けそうに見えたのです。

一念発起申し込み、教材一式を入手しました。いざ課題制作に取り組んだところ、なんとも難しく、一歩も進めませんでした。



最初の提出課題手本 「宝珠」



提出作品 「宝珠」

挫折寸前、榛東村の画廊で俳画展が開かれることを知り、見に行きました。そこで俳画教室生徒募集を聞き、太田から50km離れてはいますが、月1回第2土曜日でもあり、早速入会することにしました。当時は東京に単身赴任中でしたが、金曜日に帰宅、教室に通いました。先生は目の前で描いて見せてくれますので、通う内に描くコツを教えられ、お蔭様でなんとか通信講座も卒業することができました。

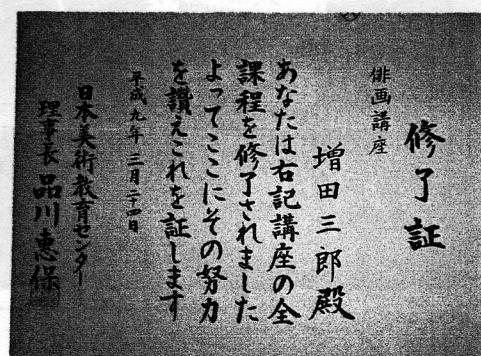
はじめてから6年、休むことも殆んどなく真面目に通っていますが、ますます奥の深さに戸惑っています。絵を描き、俳句を作り、筆字を習う。それらをバランス良く紙面に並べることは至難の業です。

まだお手本を真似るだけですが、なんとか自作ができる様になりたいと頑張っております。

三年程前に、水墨画教室の生徒募集があり、俳画の筆使いに参考になるだろうと参加しています。

三菱電機桃ヶ丘社宅の近くにプールのあった公民館は、社会教育総合センターとして様変わりしております。この講座室で水墨画教室が開かれています。生徒募集のあった時は30人ほどの新人がいましたが、現在は2人しか残っていません。歩いて5分とかからない近いこともあります、俳画と水墨画の二足のワラジを履いています。

いずれもまだまだオリジナルを描くまでに到りませんが、これからはオリジナルに挑戦し、楽しみたいと考えています。



卒業証書



最近作 「冬 牡丹」
「厨子堅く弥勒菩薩も寒に入る」



最近作 「亀」
「不 老 長 生」



水墨最近作 「虎」

編集委員からのお願い

会員投稿が途切れてしまい、急場凌ぎとなってしまいました。会員の皆様、エッセイ・俳句や絵など白黒印刷ではありますが、是非ご投稿をお願いいたします。